

# 滋賀県食の安全推進本部

県民の視点に立った食品安全行政の総合的な推進  
【すべての関係課】  
699千円

- 県民の意向を把握し、意見、提言を施策に反映させて県民参加型の取り組みに努めます。

食の安全に関する危機管理 【すべての関係課】

- 危機に備えたマニュアルを作成し、発生時の体制を整えます。
- 危機の際には、県民への情報提供に努め、国、他府県等と連携して、拡大防止に努めます。

食の教育の推進 【環境こだわり農業課、学校教育課、健康推進課、スポーツ健康課】  
16,116千円

- 学校栄養職員の専門性を生かした教育を推進します。
- 農業体験学習のなかで、子どもたちの食に対する理解と関心を高めます。

食に関する迅速な情報提供と消費者団体等活動の支援 【すべての関係課】  
193千円

- 消費者が求める食に関する正しい情報の提供に努めます。
- 消費者団体等が主体的に取り組む食の安全活動を推進するため、その活動を支援します。

県民の健康を最優先に県民の意見を施策に反映させます。

緊急時には総力をあげて危機に対応します。

食の安全に関する情報を迅速にわかりやすく提供します。

子どもの頃から食への知識と理解を深める「食の教育」を推進します。

## 滋賀県食の安全・安心アクションプランに対する

平成20年度の個別施策

総額：393,291千円

滋賀県独自の制度により食品営業者の自主管理を推進します。

食品事業者による自主衛生管理の促進  
【生活衛生課】  
8,507千円

- 自主衛生管理の3制度を推進して、食品事業者による衛生向上を進めます。

滋賀県自主衛生管理認証制度 (S-HACCP 制度) の創設

【生活衛生課】  
4,544千円

- 滋賀県自主衛生管理認証制度を創設することにより、県内の食品事業者が自主的で客観的な評価に基づき目標をもって施設の衛生管理に取り組むことを支援します。

輸入食品を含めた食品の試験検査を強化します。

食品等の試験検査の充実強化 【生活衛生課】  
28,069千円

- 高度な検査機器を整備し、新たな検査項目への対応に努めます。
- 遺伝子組換え食品の検査や農産物の残留農薬検査などの充実強化に努めます。

輸入食品の検査の強化 【生活衛生課】  
(28,069千円)

- 輸入食品の検査件数および検査項目数を増やします。
- 国や関係自治体と連携して効率的な検査を実施します。

食肉・食鳥肉の衛生確保の推進 【生活衛生課、畜産課】  
4,096千円

- 肉の取扱い施設における衛生向上を図るとともに、食肉、食鳥肉への微生物汚染防止に努めます。

いわゆる健康食品の安全対策の推進 【生活衛生課、医務薬務課】  
635千円

- 県内の製造、販売施設に対する監視指導を強化します。
- 買い上げや広告調査により、問題のあるものを改善指導します。

生産・製造から流通、消費まで各段階の指導・監視を強化します。

近江牛等の安全な牛肉の生産を促進します。

農薬などの不適正流通の防止と適正使用の指導  
【環境こだわり農業課、畜産課、水産課】  
4,036千円

- 無登録農薬等、不適切な資材の流通を防止します。
- 農業者に対し農薬の適正使用を指導します。
- 畜産・養殖業者に対し、動物用医薬品等の適正使用を指導します。

食品衛生監視指導の強化 【生活衛生課】  
22,566千円

- 計画的、効果的な監視指導により、違反食品を排除して食品の安全確保に努めます。

年間を通じた食中毒の発生防止対策の推進 【生活衛生課】  
11,876千円

- 食中毒の発生、年間10件以下を目指します。
- 大規模食中毒の発生しやすい施設に対し、予防対策を充実します。
- 県民に情報提供を行い、家庭の食中毒の予防に努めます。

適正な食品表示の推進 【農政課、生活衛生課】  
663千円

- 国との連携を強化し、食品の不正表示を監視します。
- 消費者によるチェック体制を強化して、表示の適正化を推進します。

安全・安心で新鮮な滋賀の農林水産物の供給を促進します。

環境こだわり農業の推進 【環境こだわり農業課】  
236,346千円

- 環境こだわり農業を進め、より安全で安心な農産物を供給します。
- 環境こだわり農産物を滋賀ブランドとして確立します。
- 県民みんなが支える環境こだわり農業を確立します。

地産地消で「生産者」の顔が見える関係づくり  
【環境こだわり農業課、農業経営課、水産課】  
7,600千円

- 消費者と生産者の交流を促進します。
- 環境こだわり農産物をはじめとする県内産農・水産物が、身近に手に入るように努めます。

農・水産物のトレーサビリティ・システムの促進  
【農業経営課、水産課】

- トレーサビリティ・システムの構築に向けて、生産者団体を主体に農・水産物の生産段階から取り組みます。
- 消費者の知りたい情報を、効率的な方法で発信する産地づくりを進めます。

近江牛等の衛生管理の徹底 【畜産課】  
17,765千円

- 畜産農家を対象に、衛生情報をタイムリーに発信するとともに、衛生技術研修会を開催します。
- 牛飼養農家の巡回指導を強化します。

牛のトレーサビリティ・システムの導入促進【畜産課】  
1,600千円

- トレーサビリティ・システムの導入を推進し、牛の生産・流通履歴情報の提供に努めます。
- とりわけ「近江牛」については、県独自の取り組みを推進します。

牛海綿状脳症 (BSE) 対策の推進  
【生活衛生課、畜産課】  
27,980千円

- 安全な牛肉だけが市場に流通する総合的なBSE対策を推進します。